

授業概要

製造業において生産管理部門は司令塔的位置付けである。本科目では、工程フロー、在庫管理、生産計画、アウトソーシングを中心に隣接する業務である人事・労務管理や製品開発も講義する。複雑な数式は用いず、講師が実践した事例をいくつか紹介しながら、受講者全員が理解できるように講義を進める。

第1回の授業では、本講義における「製造」と「生産」の違いについて説明する。

授業計画

第 1 回	オリエンテーションと講義を理解するための基礎用語
第 2 回	工程の歴史的分析① アメリカ式生産方式
第 3 回	工程の歴史的分析② 日本式生産方式
第 4 回	競争力とその構成要素（国際競争、QCDF）
第 5 回	コスト・生産性の管理と改善（ジャスト・イン・タイム方式）
第 6 回	納期と生産計画（在庫管理、MRP、かんばんシステム）
第 7 回	品質とその管理・改善（QC 七つ道具）
第 8 回	フレキシビリティ（部品共通化、SMI=預託在庫）
第 9 回	生産戦略（生産能力、工場立地）
第10回	人事・労務管理
第11回	設備管理と生産技術
第12回	購買管理とサプライヤーシステム（サプライチェーン）
第13回	製造の外部委託（アウトソーシング）
第14回	製品開発
第15回	まとめ
第16回	筆記試験

到達目標

生産管理の役割の概要を理解し、生産計画は会社の収益に大きな影響を与えることを説明できる。

履修上の注意

講義の最後に簡単なクイズを出題する。これを提出してもらうことによって出席をとる。

予習・復習

授業のノートをとって、次の授業までに復習し、不明点があれば講師に確認してほしい。その方法は授業中に指定する。

評価方法

筆記試験（70%）、受講態度（30%）

テキスト

（参考書）
藤本隆宏（2001）『生産マネジメント入門Ⅰ』日本経済新聞社 ISBN4-532-13205-3
藤本隆宏（2001）『生産マネジメント入門Ⅱ』日本経済新聞社 ISBN4-532-13206-1